

# 正面に向く香炉の足の数



●Answer

ざん おういん きゅうようじ ぜんじゅうしょく  
沖縄市・コザ山 仁王院 球陽寺 前住職  
帰依 龍照 (きえ りゅうしょう)

Q

実家の2階に夫婦で住んでいます。1階に母のヒヌカンがありますが、とあることからユタに「旧暦1月4日に2階にもヒヌカンを置きなさい」と指示されました。母から反対されました。が、「2階のヒヌカン香炉の足を2本、正面に向けるならOK」といわれました。よく見ると、母のヒヌカン香炉の足は、一本が正面に向いています。香炉の足の本数には何か意味があるのでしょうか?

(八重瀬町・Nさん・30代・女性)

縄では、礼拝する私たち側は1本、トートメーラやヒヌカなど礼拝の対象側には2本と香炉の足を多くすることと敬う者から敬われる者の敬いの真心を表現していると考えられています。

## 2本足が正面に向くケース① 主人と客の場合

ではなぜ、お母さんは「香炉の足を2本、正面に向けるならOK」とおっしゃったのでしょうか?

以前、沖縄の民話の『スジンウコール(主人の香炉)』と『チャクウコール(お客様の香炉)』というお話を長老の方々からうかがつたことがあります。

Nさん、ユタの先生から「2階にもヒヌカンを置きなさい」といわれたときは、少し驚かれたことでしょう。ヒヌカンはお仏壇と同じ、家庭祭祀の中心的な役割を担っています。今から若い夫婦が協力し合い、ゆっくりと沖縄のしきたりを学んでいただきたいとの思いから、ユタの先生が勧められたのかもしれませんね。旧暦1月4日は、ヒヌカンウンケーといい、ヒヌカン(火の神様)をお迎えする日ですので、香炉を新設するには最適なタイミングだといわれます。今年、新暦では、1月28日(火)がヒヌカンウンケー当日になっています。

## 一般的に正面は1本足

一般的に、香炉は1本足を正面に、2本足を奥側にして置くことが多いです。その意味には諸説ありますが、中国福建省の文化に恩恵のある沖

足は基本の形の1本が正面であり、男性の位牌の香炉(ウチャクウコール)の足は主人と区別するため、2本が正面であったのだとか。

Nさん家でいいますと、1階のお母さんのヒヌカンが中心ですので、スジンウコールである香炉の1本足が正面で、2階のNさんのウチャクウコールである香炉の2本足が正面に向くのも一理ありますよね。

さらに、もう少し専門的に考えますと、ジョウミチ(門道)をワカス(分ける)という沖縄のしきたりがあり、中心的なヒヌカンが2つありますと、大切な年中行事などのウグワン(御願)がそれぞれ交差してしまい、結果的にキチンと通らないということになるともいいます。つまり、1階と2階の香炉の足の数を区別することで、ヒヌカンに通らなくなることを未然に防ぐお母さんのジンブンともいえるかもしれません。

その内容は、ウージ(サトウキビ)の農繁期の出稼ぎのため、本島北部から中部へ出向いていた男性が、畑で不慮の事故に遭い亡くなり、それを憫に思った畑の主人が、自分が台所にあるヒヌカンの香炉の横に、この男性の位牌と香炉を仮安置しました。やがて、その男性の一周年の頃、男性の奥さんと長男が位牌と一緒に、親子は無事、男性を自宅へ案内することができました。

## 2本足が正面に向くケース② ハチナンカから若スーコーの場合

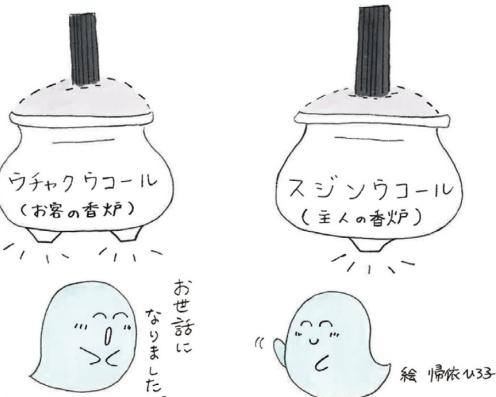
仏(は)まだ成仏されていないから、それを表現するために2本足を正面に向けておき、ウスーコー(ご法事)からは成仏を表す、本来の1本足を正面に向けています」とのことでした。

うん、即得往生(そくとくおうじょう)という、お亡くなりになると同時に、故人様は成仏されるという専門的な考え方もありますので、これは新説なのかもしれませんね。

Nさん、今回の回答としましては、お母さんのおっしゃる通り、2階のNさんのヒヌカンは、2本足を正面に向けることをお勧めいたします。

なお、読者のみなさまには、同じようなケースのとき、どうしても2階の香炉の2本足を正面に向けなければならないということではありません。

現在、1本足が正面に向いているのであれば、それはそれで、1階と2階のヒヌカンが2倍にパワーアップするとプラスに考えていただき、現状維持でお願いいたしますね。



帰依 龍照(きえ りゅうしょう)

1968年岡山県出身(51歳)/学歴:岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒/専門分野:哲学(宗教哲学)/コザ山 仁王院 球陽寺(京都創建・正嘉2(1258)年、沖縄移転・昭和36(1961)年)・第18代住職/沖縄県宗教研修会・理事長/沖縄県内にて年間多数の住宅・墓の起工式(地鎮祭)を担当しつつ、行政・企業・学校における「琉球・沖縄のしきたり」に関する講演活動を行なう。娘1人と息子3人の父親。

**【質問をお寄せください】** 年中行事やしきたりに関して、日々から疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q & A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。